

チャペルへの招き ―豊かな「時」をあなたへ―

舟 木 讓

View metadata, citation and similar papers at core.ac.uk

brought to you by CORE

provided by Kwansei Gakuin University Repository

れ、2016年度の幕が閉まりました。新入生・編入生の方々、また学年を一つ駆け上がった方々、それぞれに多くの期待と共に一抹の不安を抱えながら新しい歩みを始められたことと思います。いろいろと迷い悩みながら履修登録を行い新しい未来への扉を開く準備をし、いくつかの授業をすでに受講され始めたことと思います。各授業への出席が忙しく、その存在を時として忘れてしまうかもしれませんが、授業期間中、各キャンパスにおいて原則10時35分から11時05分の時間帯（梅田キャンパスは木曜日の17時50分から18時20分に実施、また聖和短期大学では木曜日が50分のロングチャペルとなる）を「チャペルアワー」として毎回各学部等で工夫された「時」が用意されていることに気づいていただきたいと思います。

この時間帯は、正規の講義が行われている訳ではありませんが、関西学院の礎である「キリスト教」を体感したり、関西学院の126年を越える歴史の中で培われ、大切にされてきた様々な伝統や活動を目の当たりにしたりすることの出来る貴重な「時」となっています。

30分という短い時間ですが、毎週発行される「チャペル週報」を見ていただくと分かりますように、本学学生団体によるミニ・コンサートや活動報告、各部で設定された主題による連続講話、学部の枠を超えた教職員の方々が担当されるプログラム、外部講師を招いての特別プログラム、学部合同によるプログラム等々、一年間を通じて実施される内容の豊かさに圧倒されることと思います。

講義の合間の忙しい「時」ですが、すべての関西学院構成員に開かれ、「関西学院らしさ」を最も実感できる「時」であり、また多様な背景を有し、豊かな活動をしている「人」に出会える機会であり、私たち個人では決して出会うことのできない様々な「事柄」に向き合うことができる「場」となっています。

私たちを取り巻き、気づいていないかもしれないが存在している多様な「人」「世界」「問題」等々に「向き合い」「出会う」扉が用意されている「チャペルアワー」という「時」を、関西学院で過ごす私たち一人ひとりに与えられた特権として、また恵みとして味わっていただきたいと切に願います。

(宗教総主事・大学宗教主事)

4月15日(金)	院	Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)
	神	ゴスペルクワイア"P.O.V."による音楽礼拝
	文	English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
	経	学生生活オリエンテーション②
	人	賛美歌を歌おう① 広瀬康夫(吉岡記念館事務室職員・グリークラブ技術顧問)
	理	前川 裕(宗教主事)

◇ランパス早天祈祷会	毎金曜日	8:20 ~ 8:40	ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)
4月8日(金)	新年度、イースター(3/27)を覚えて		舟 木 讓(宗教総主事)
4月15日(金)	神学部のために		土 井 健 司(神学部 部長)